

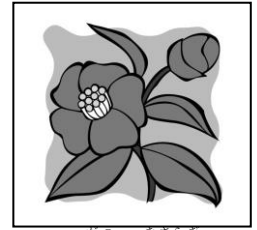


令和2年度

横浜市立生麦小学校

学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 沼田 留美子
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



2月(如月)

はる
春はもうすぐ

こうちよう むまた るみこ
校長 沼田 留美子

寒い日が続いています。寒さに抗うかのように、校庭の梅がふっくらとつぼみを膨らませて
見えています。すっかり葉の落ちている木にウグイス色の鳥が2匹で何かをついばんでいるのが
見えました。鮮やかな色からウグイスではなく、メジロのようです。休み時間にはせつせと
花壇やプランターに水をまいている子がいます。小さな芽が土の中から背伸びしているよう
に見えます。校庭では、ほおを赤くして鬼ごっこなどして走り回っている子どもたちがたく
さんいます。寒い中でも暖かい春が近づいていると感じられます。

新型コロナウイルス感染症対応による1月15日(金)の下校引き取り、1月18日(月)の臨時
休業に際しましては、お子様をはじめ、保護者、地域の皆様にも多大なるご心配をおかけいた
しました。急なご連絡にもかかわらず大きな混乱もなく、ご対応いただきましたことをこ
ろより御礼申し上げます。鶴見区福祉センターの調査のための臨時休業でしたが、校内での感染
の拡大はみられないという結果が出たため、教育委員会の指示により、翌日から授業を再開
いたしました。緊急事態宣言が継続されている中での教育活動再開ですが、引き続き、三密
防止、校内消毒、マスク着用などできる限りの対応を継続してまいります。また、不安なお
気持ちから、憶測に基づく事実とは異なることや、個人に関わることの流布を慎んでいただ
くことについて、情報の取り扱いにはくれぐれもご配慮いただけますよう、ご協力のほど
よろしくお願いいたします。ご心配なことがございましたら、どうぞ学校にご連絡ください。

さて、もうすぐ節分です。今年の節分が2月3日でなく、2月2日であることに驚かれた
方もいらっしゃるのではないのでしょうか。これは1897(明治30)年以来124年ぶりということ
です。124年前はエジソンが活躍している年で、本校の歴史資料室にある蓄音機の原型が発売
されたころだそうです。2日が節分であることについて新聞の記事に「地球が太陽を1周す
る時間が365日ちょうどではないためのずれ」と書かれていました。「立春」の前日が「節分」
です。読んで字のごとく、季節の節目にあたる日です。この日で冬が終わり、翌日から春に
なる、冬と春の境目の日といわれています。豆をまいたり、イワシの丸干しと柊(ひいらぎ)
のチクチクした葉を玄関に掲げたりするご家庭もあることでしょう。今年ほど「鬼」が身近に
感じられる年はないかもしれません。新型コロナウイルス感染症が収束し、人と人とが
つながり、マスクがなくても安心して過ごせる生活が戻ってくることを願ってやみません。皆様
も、時節柄どうかご自愛くださいますようお願い申し上げます